

2020 東京オリンピック・パラリンピックで見たい競技は？

We can! 2, Unit 6 「What do you want to watch?」 (対象学年 6 年生)

三条市立井栗小学校 竹石 亜生

新学習指導要領の移行措置・先行実施に関わり小学校 5.6 年の外国語活動の授業で使う新教材「We can!」を公表した。その中、2020 年に開催されるオリンピック・パラリンピックにちなんだ単元について取り上げ、活動内容を考え実施した。

★単元目標

- 競技名や国の言い方が分かる。
- オリンピックやスポーツなどについて話される英語を聞いて、その概要を捉え、見たい競技などについて自分考えや気持ちを伝え合う。競技名や国名を表す簡単な語句を読んで、その意味が分かたり、書き写したりする。
- 見たい競技などについて伝え合おうとしたり、書かれたものを読もうとしたりする。

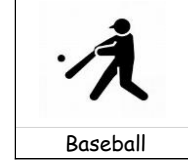
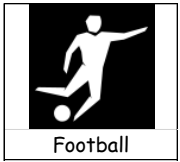
<指導計画 (全 7 時間)>

時間	目 標	主な活動
1	さまざまな競技について聞き、オリンピック・パラリンピックについて興味をもつ	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピック・パラリンピック開催国の言い方を練習する。 • ゲーム：開催国カードゲーム (開催数の多い国ランキング当て) • オリンピック・パラリンピックの歴史を知る。(パワーポイント資料) • 今まで調べたことを出し合う。(付箋で調べたことを分類しながら掲示)
2	オリンピック・パラリンピックの種目について聞き、見たい競技を聞いたり	<ul style="list-style-type: none"> • 競技名の言い方を練習する。 • ゲーム：競技名アルファベット並べ • ゲーム：マッチングゲーム (競技名と使う道具を合わせる) • オリンピック種目のピクトグラムを知る。(パワーポイント資料)
3	言ったりする	<ul style="list-style-type: none"> • 競技名の言い方を練習する。「I want to watch (競技名).」 • ゲーム：3 ヒントクイズ (競技場所や使用する道具、競技をする人数などをヒントにして競技名を当てる) • ゲーム：ジェスチャーゲーム (何の競技をしているかジェスチャーをして競技名を当てる) • オリンピックの競技について知る。(パワーポイント資料)
4	オリンピック・パラリンピックで見たい競技は何か伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> • 競技の言い方、見たい競技を尋ねたり答えたりする言い方を練習する。「What do you want to watch?」「I want to watch (競技名).」 • ゲーム：ピクチャーゲーム (グループで協力して絵を描き、何の競技かを当てる) • 何の競技の選手か知る。(パワーポイント資料)
5		<ul style="list-style-type: none"> • ゲーム：Get 21 (学級で観たい競技のアンケートからランキングを作りランキングを 2 チームに分かれて当てる) • ゲーム：CONTACT (競技のピクトグラムカードを使って 3、4 人のグループで行うゲーム) • 見たい競技のメッセージを考える。
6	競技名を読んで自分が見たい競技を決め、競技紹介を作り、友達と伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> • 競技の言い方、見たい競技を尋ねたり答えたりする言い方を練習する。「What do you want to watch?」「I want to watch (競技名).」 • ゲーム：インタビュー BINGO • 「What do you want to watch?」「I want to watch (競技名).」 • 見たい競技のメッセージを作り、練習する。

7	<ul style="list-style-type: none"> • 競技の言い方、見たい競技を尋ねたり答えたりする言い方を練習する。 「What do you want to watch ?」 「I want to watch (競技名) .」 • 見たい競技のメッセージ発表 • Unitのふりかえり
---	---

【競技名アルファベット順並べ】

○準備する物：競技のピクトグラムカード（19種類を3.4人のグループで1セット。新競技は、公式ではないピクトグラムを活用）
全競技の中からテキストに載っているもの・子どもたちから調べて興味をもったものに絞った。



公式ピクトグラムのカード

公式ではないピクトグラムのカード

○活動の方法：

グループで行う。アルファベット順に並べる。最初の文字が同じだったら、2番目の文字で比べる。並べた順に競技名をみんなで読む。
(教室には、アルファベットの表を掲示)

この活動に入る前に、子どもたちは自分の名前でもアルファベット順に並んだ経験がある。子どもたちは、アルファベット表を見たり、アルファベットを言ったりしながら相談してカードを並べていた。また、競技名を言うことで、アルファベットの読みから推測して競技名を言おうとしていた。

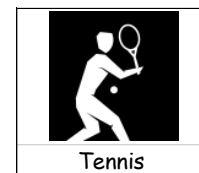
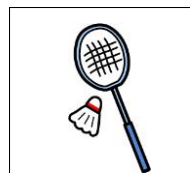


【マッチングゲーム】

○準備する物：ピクトグラムカードとその競技に使われる道具のイラストカード（19種類）をグループで1セット

○活動の方法：

3.4人のグループで行う。競技名のピクトグラムカードは、机の真ん中に裏返して重ねて置く。道具のカードは、その周りに表にして広げる。順番を決め、一番目の子どもがピクトグラムカードの一番上を引き、全員に見せる。このとき、「I want to watch (競技名) .」と言う。それ以外の子どもたちは、言われた競技に使う道具のカードを「Me, too. 」と言って取る。



ピクトグラムのカードにあまり慣れ親しんでいなかったにもかかわらず、競技と道具につなげることができ、積極的に「Me, too. 」と言いカードを取る姿が見られた。繰り返し練習ではなく、カードをめくるたびに言う必然性を含んでいることで、子どもたちにはわくわくした緊張感があった。これらのカードを使ってさまざまなゲームが工夫できる。